

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和 2 年 4 月 30 日

事務事業名		産後ケア事業		事業区分		担当	
				新規/継続	新規	事務事業No.	010203001025
				単独/補助	補助		040401
政策体系上の位置付け				所属課			
総合計画の施策名				健康づくりの推進			
政策名				01 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり			
施策名				02 健康づくりの推進			
手段名				03 ③母子支援体制の充実			
財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目				一般会計			
01 04 01 01 03 00				母子衛生事業			
法令根拠				母子保健法 ・ 桜川市産後ケア事業実施要項			
[Do]				1. 事務事業の現状把握 (その1)			

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援を行い、保護者の子育て世代の孤立化を防ぎ、育児不安を軽減し安心して子育てができること、ひいては乳児の健全な育成や虐待予防を目指す。また、育児への不安や負担感を有する産後4か月までの母親とその乳児を産科医院に宿泊又は助産師を自宅に訪問させ、母体の休養及び体力の回復並びに母体ケア、乳児ケアの実施を図る。	事業の周知 申請者の相談対応 申請の決定及び産科医院、助産師への依頼 申請事務処理 支払い事務 実績報告書作成

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
申請により審査し助成を決定する。 宿泊型：1泊 3万円 (自己負担 3万円) 5泊まで利用可能 訪問型：1回8千円 (自己負担 800円)	産婦	人	0.00	179.00	3.00	3.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
産後4か月までの母親とその乳児 母親が出産又は育児について不安や負担を感じ、家族の協力を十分に受けられない方	要支援妊産婦	人	0.00	22.00	22.00	22.00	22.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
育児への不安や負担の軽減を図る。	利用者数	人	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		30年度	01年度	02年度	期間限定 総投入量		
		(実績)	(実績)	(計画)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	105	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
		一般財源	千円	0	0	107	0
		事業費計 (A)	千円	0	0	212	0
	正規職員従事人数	人	0.00人	1.00人	1.00人		

01年度事業費 実績 (千円)		02年度事業費 予算 (千円)	
		13 委託料	212
	合計	0	合計
			212

事務事業名	産後ケア事業	事務事業No.	10203001025	所属課	健康推進課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 社会情勢の変化、核家族の増加、地域のつながりの希薄化等、妊産婦にかかる負担が増え、要支援妊婦が増加しているため。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 出産して、育児に不安な時には、産後ケアを使ってみたいと希望がでている。また、そのようなサポートがある事は、安心との声が妊婦よりあがっている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 産婦の育児不安や虐待防止に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 母子保健法、児童虐待防止法、次世代育成支援対策事業の一環として市で行う必要がある。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 現在、宿泊型は1か所の病院と契約し、実施している。利便性を考慮し、宿泊型の契約機関を増やすことで、成果の向上の余地はある。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 育児不安が軽減できるように支援していく必要がある。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似の事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 必要最低限の事業費のため削減の余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 生後4か月までの全出生児、産婦を対象としているので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	育児不安の軽減、虐待防止に有効な事業であり、事業の周知も重要である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内には、産科医療機関がないので近隣で契約機関を検討して行く必要がある。		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○	X	X			X	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
		○	X	X																	
		X	X	X																	
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>